



2024年3月

ビジネス・イノベーション研究所 兼任研究員 活動報告

(1) 望月 徹

- 経済地理学会西南支部3月例会（福岡市）において研究報告を行いました

【開催日】2024年3月16日

【場所】西南学院大学

経済地理学会西南支部3月例会へ出席し、2月に上梓した『地域を価値づけるまちづくり』（2024年、ナカニシヤ出版）の「尾道中心市街地の移住者たち」（3章）について、追加調査でコロナ後の状況を把握し、その課題を提示する報告を行いました。その後のフロアーとの活発な質疑応答から、幾つかの新たな研究視点が得られました。


- 広島県府中市上下町にて現地調査・研究を行いました。

【調査日】2024年3月9日～11日

【場所】広島県府中市上下町

広島県府中市における2023年度地域課題解決事業に、望月ゼミの提案が採択され、留学経験者を中心に2～4年生で調査チームを設け、現地調査（府中市上下町）を行いました。

石見銀山ルートなど、他地域を巻き込んだ一体性のあるストーリー化を図ることで、ドイツのロマンチック街道のようなブランディングが可能となり、それが外国人にも訴求し上下町の豊富なコンテンツを生かすことにつながることを示しました。学生がまとめた調査報告は、地域の担い手から高い評価を得ました。



(2) 奥野 明子

- 子連れMBA®のワーママメンバーと共同執筆した論文が刊行されました。

【発行】2024年3月

「大阪と東京のワーキングマザーの働きやすさの違い」

『心の危機と臨床の知』Vol.25 (2024.3)pp.21-52、 甲南大学人間科学研究所

- しまね働く女性きらめき応援塾 2023 番外編にて、講師を務めました。

【開催日】2024年3月12日

【場所】松江市市民活動センター

短時間でわかる！対象者別セミナー 育休後も活躍するためのキャリア支援

- ・管理職者向け「人材多様化時代における目標管理と評価のためのワークショップ」
- ・復職者向け「育休後も活躍し続けるための働き方デザインワークショップ」

- 甲南学園 ダイバーシティ&インクルージョン宣言 制定記念シンポジウム

『彩りゆたかなキャンパスをめざして』にパネリストとして登壇しました。

【開催日】2024年3月1日

【場所】甲南大学 岡本キャンパス

<パネルディスカッション「これからのキャンパスのあり方を考える」>

誰もが自分の望む働き方で社会に貢献し幸せになるためのD&Iであり、トップの理解と強いサポートが必要と呼び掛けました。

[甲南学園ダイバーシティ&インクルージョン宣言制定記念シンポジウムを開催しました | 大学総合 | ニュース | 甲南大学 \(konan-u.ac.jp\)](#)



(3) 西村 順二

- 甲南学園広報部主催「第5回 梅と文化の花結日」において講演・対談を行いました。

【開催日】2024年3月2日

【場所】甲南大学 甲友会館

<エルベラン柿田シェフと西村教授のスイーツ対談>

「花結日」において、本学OBの西宮市の有名店エルベランの柿田オーナーシェフと西村所長の対談が行われました。当日は300名の方にご参加いただき、柿田シェフのスイーツ作りに対する思い、西村所長による神戸スイーツの原点等が対談を通して語られました。

- 西村順二所長とそのゼミ生が県立北条高校の探究活動授業の成果発表会で研究成果、評価員を担当しました。

【開催日】2024年3月6日

【場所】兵庫県立北条高校

昨年度から北条高校で始められた探究活動の授業に指導者として招かれたご縁で、生徒の研究発表会の評価員を西村所長、そして西村ゼミの4年生3人が担当しました。当日は、ポスターセッションでの発表（約15チーム）と、対面で研究発表（約20チーム）が行われ、高校生による地域活性化に対する様々な提案が示されました。

- 甲南大学キッズフェスティバルで、ミニ講演を担当しました。

【開催日】2024年3月10日

【場所】甲南大学 iCommons

<和菓子しょくにんになろう>

地域の子供たちに親子で楽しんでいただくイベント「キッズフェスティバル」において、今年もBI 研究所スイーツプロジェクトの一環として、和菓子製作体験教室を提供しました。はじめに西村所長から神戸のスイーツ事情について説明、その後、常盤堂 岩崎様のご指導で体験教室が開催されました。



- 若手経営者のためのMBA 講座においてコメンテータを担当しました。

【開催日】2024年3月21日

【場所】神戸大学 六甲大学舎 特別会議室

<早朝パワーモーニング勉強会>

神戸大学名誉教授加護野忠男氏主宰の早朝勉強会に出席し、コメンテータを担当しました。今回は、大阪の中小企業(株)美販の尾寅社長による組織内での新製品開発発想の道筋に関するテーマに基づき議論が行われました。

以上